



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：アル・カーイダによる攻撃の可能性 (1月8日付 Gulf Daily News)

西側情報筋がアル・カーイダによる攻撃の可能性について湾岸諸国に警告している(要旨)。

1.

- (1) 治安関係筋によると、西側情報当局者は湾岸諸国に対して、過去数カ月間にアル・カーイダが組織を再構成し、主に船舶に対して新たな一連の攻撃を開始しそうであると警告した。
- (2) また、同筋は、アル・カーイダは湾岸地域及びアラビア海において軍艦、商業・旅客船舶に対して攻撃を実施するべく訓練を行ったと明らかにした。西側情報当局は、湾岸諸国に対して船舶保護の為に治安措置を取るよう促している。

2.

- (1) ワシントンに本拠を置くモニタリング・グループ「MEMRI」によると、ここ1~2週間、多くのウェブサイトにはジハードイストによる脅迫が投稿されている。この中には米海軍とその乗組員に対する攻撃を呼びかけるものが含まれている。
- (2) しかしながら、在バハレーンの米海軍は、治安措置を強化する予定はないとしている。ベイカー米第五艦隊副広報官は、「我々は、脅迫があることを認識しているが、セキュリティ・レベルについては、現在とても高いレベルで実施しており、現状を変更する予定はない」と述べている。